

【西区】令和3年第2回区づくり推進横浜市議員会議

令和3年6月11日(金) 16時開始
西区役所3階3B会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和3年度 西区運営方針について
- (2) 令和3年度 西区主要事業の進捗状況について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」
(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 地域連携交流事業
 - ウ 地域活動支援の強化
(地域活動事業、区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業)
 - エ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - カ 健康づくり応援事業
 - キ 子育て支援の推進
(西区で子育て学び隊事業、女性と子どものための相談支援強化事業)
 - ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業
 - ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - コ 西区民まつり
 - サ ふるさと西区魅力発信事業
 - シ スポーツ振興等事業
 - ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
 - セ 広報充実事業
 - ソ 西区環境行動推進事業
 - タ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
 - チ 交通安全事業
 - ツ 安心して暮らせるまちづくり推進事業
 - テ 食中毒・感染症予防対策事業
 - ト 地域防災活動推進事業
- (3) 西区に係る予算のすがた
- (4) 西区における開発動向等について
- (5) 新型コロナウイルスワクチンの接種計画等について
- (6) 臨港パーク先端部等の整備について

4 会議報告書の作成

5 閉 会

令和3年度 西区 運営方針

I 基本目標 **つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ**

新型コロナウイルス感染症の拡大により、日々の生活や経済に深刻な影響が生じている中、この影響を十分把握しながら、「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」、「地域活動の継続支援」に取り組めます。

具体的には、西区の総合的な計画である「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)の第4期計画を策定し、地域包括ケアシステムの構築に向けた西区アクションプランと併せて、一体的な取組を進めます。また、皆さまが大切にしてこられた地域活動の継続に向けて、地域の皆様に寄り添い支援を行うとともに、連携・協力して地域課題の解決を図り、より良いまちづくりを進めていきます。

II 目標達成に向けた施策

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、暮らし・経済への対応

区民の皆さまの安全・安心を第一にワクチン接種の円滑な実施や感染症対策の徹底とともに、商店街振興やICT活用による地域活動支援など、経済の再生や新たな日常への取組に力を入れて取り組んでいきます。

地域のつながりづくり

地域の皆さまや関係機関とともに連携して、第4期「にこまちプラン」の策定を感染拡大の状況も見極めながら進めていきます。

また、「顔の見える関係づくり」や、地域課題解決の取組を一層広げて行くため、活動の担い手づくりやICTツールの活用支援などに取り組めます。

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで、誰もが自分らしく安心して暮らせる環境づくりを進めます。また、感染症予防や生活習慣病予防など健康に暮らせるまちづくりに取り組めます。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

東京2020オリンピック・パラリンピック等大規模イベントの開催に合わせて、まちの賑わいづくりを進めます。また、商店街支援や緑化を通じたまちの活性化を図ります。

安全・安心なまちづくり

地域における自助・共助の取組を支援するとともに、風水害対策をはじめ、区本部の防災機能の強化を図ります。また、多数の大規模施設を抱える西区の特性に即した防犯・交通安全対策、食中毒・感染症予防に取り組むとともに、地域美化・環境配慮行動の啓発に力を入れて取り組めます。

III 目標達成に向けた組織運営 ～親しみやすい区役所づくり～



お客様の立場に立った窓口サービスの提供

区民の皆さまを笑顔とあいさつで温かくお迎えします。傾聴を第一に、丁寧に分かりやすい説明を心がけ、正確で的確なサービスを提供するとともに、適切に業務を行います。

西区の取組や魅力の発信

「広報よこはま」をはじめとした従来の情報発信に加え、デジタル化を推進し、誰もが手軽に情報を入手できる環境を整えるとともに、西区の取組や魅力を積極的に発信します。

『チーム西区役所』の強化

職員一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、人材育成とICTツールを活用した働き方改革を進めます。また、各課の連携を強め、『チーム西区役所』として総合力を発揮し、区民満足度の向上に努めます。

主な事業・取組については、次ページをご覧ください⇒



マークは新型コロナウイルス感染症対策、経済の再生や新たな日常への取組を示しています。

地域のつながりづくり

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



1 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」第4期計画の策定を通じて、地域の皆さまとともに課題解決に取り組みます

- ・第4期計画の策定を地域の皆さま、関係機関と連携し進めます。また、地区別計画については、議論が進められる状況を見定めながら策定を行います。
- ・活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地域の取組の発表を中心とした「にこまちフォーラム」を開催します。
- ・福祉保健計画の推進に向け、様々な世代を対象とした地域活動の参考となる講座を実施します。

2 新たに大学との連携を推進し、地域活動の担い手育成を推進します

- ・「西区地域づくり大学校」修了生の活動開始に対する支援を行い、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図ります。
- ・みなとみらいにキャンパスを開設した神奈川大学との交流・連携を進めます。

3 地域活動を支援し、協働によるまちづくりを進めます

- ・自治会町内会単位での ICT を利用した会議開催の支援や、区民利用施設を活用した ICT ツールの利用促進を進め、地域活動の継続を支援する取組を進めます。

オンライン会議の実施



いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

1 貧困をなくそう



3 すべての人に健康と福祉を



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



1 妊娠期から切れ目のない子育て支援を行います

- ・「プレパパママクラス」や「よちよちパパママ育児教室」の土曜日開催を増やし、平日参加の難しい方への機会の提供を図るなど、妊娠期から出産後まで切れ目のない子育て支援を目指します。
- ・3歳児健診時の臨床心理士による個別相談など、子どもの発達に対する支援を強化します。

2 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう取り組みます

- ・高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、地域包括ケアシステムを推進します。地域・企業向けの見守りガイドについても周知を進める等、つながり作りを進めていきます。
- ・認知症の正しい理解や、介護者支援のための認知症予防講演会を実施するほか、「ころばんよ体操」の新たなバージョンの DVD を作成・活用し、高齢者の健康づくりや介護予活動に取り組みます。

3 障害のある人も住みやすい環境づくりを進めます

- ・地域防災拠点訓練やヒューマンライブラリー等を通じて、配慮が必要な方についての理解を進めます。
- ・精神障害者等の自立に向けて、マンスリーマンションを活用した実際の一人暮らしを体験できる場を提供します。
- ・電源を要する医療的ケアが必要な方に向けて、災害時の非常用電源機器の貸与を行うとともに、非常時を想定した訓練を実施します。



ヒューマンライブラリーの開催

4 健康づくり活動の支援や健康情報の啓発に取り組みます

- ・生活習慣病の予防の取組ほか、健康に関心を持つ機会の提供や健康づくり活動の支援を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症に係る新しい生活様式の内容を含めた健康情報の啓発に取り組みます。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

1 イベント開催に合わせ、地域資源活用による賑わいづくりに取り組みます

- ・ガーデンネックレス横浜や東京 2020 オリンピック・パラリンピック等、来街者が増加する機会を捉え、ガイド情報誌やまち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の回遊を促進します。

2 商店街等と連携したイベントを実施し、地域経済の活性化を図ります

- ・商店街を巡るスタンプラリーや「商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～」を開催し、商店街の振興と地域経済の活性化を図ります。
- ・「オウチで西区商店会！」としてテイクアウトに対応している店舗をホームページ等やデジタル観光マップで紹介することで、利用促進につなげます。

※各施策の下に表示されているアイコンは、SDGs（持続可能な開発目標）との関連を示しています。



3 西区民まつりを通じて、地域の活性化を図ります

- ・西区民まつりについて、感染症の状況を考慮した開催方法の検討を進め、地域の更なる交流と維持・活性化できる機会をつくります。

4 伝統文化に触れあう機会を創出し、地域交流を促進します

- ・「西区虫の音を聞く会」や「横浜かもんやま能」などについても、感染の状況等を考慮した実施方法について検討を進め、伝統文化に親しみ楽しむ機会をつくります。

5 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運醸成等を通じてスポーツに親しむ機会を創出します

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの機運醸成として、大会グッズの巡回展示や競技体験会等を実施します。



子どもサッカースクールの開催

6 まちの緑化を通じて地域のつながりづくりを進めます

- ・潤い空間づくりを進めるため、花苗の提供や協働での植え付けを行います。また、藤の花の再生に取り組み、地域の賑わい活性化を目指します。



再生に向けた藤棚の剪定

7 情報提供環境を整備し、広報機能を充実します

- ・従来の情報発信に加えて、広報印刷物のデジタル化・多言語化を進め、誰もが手軽に情報を入手できる環境を整えます。



1 自助・共助の取組を進めるとともに、地域・区本部の防災機能を強化します

- ・地域防災拠点の機能強化として、災害時の新型コロナウイルス感染症対策の強化や多様な避難者への対応支援を行います。また、地域の減災行動に向けた取組を推進します。
- ・震災・風水害の災害時を想定した訓練の実施や全方位カメラなどの ICT 機器の導入を進め、区本部の防災機能を強化します。

2 感染症予防等に関する情報発信等に取り組みます

- ・感染予防に関する情報発信を行うほか、室内二酸化炭素濃度の「見える化」を図り、感染症予防における換気の重要性を周知します。



窓口に設置した CO₂ モニター

3 まちの交通安全対策を関係機関とともに推進します

- ・子ども達の安全を確保するため、警察署や交通安全協会と連携して交通安全教室を開催します。

4 地域の防犯力の強化に取り組みます

- ・特殊詐欺及び子どもの防犯対策のため、青色パトロール活動を実施します。

5 区内の団体と連携し、環境行動の推進を図ります

- ・様々な主体と連携しながら、区民参加型取組「にしく eco チャレンジ」や区内企業・団体等の環境配慮行動を P R するパネル展を開催します。

6 体験講座や清掃活動等を通じて環境問題に取り組みます

- ・企業等と協働で児童・生徒を対象にオンライン講座と併用した「ペットボトルを原料としたマスク作り」や「廃油を原料としたキャンドル作り」などのリサイクル体験講座等を行います。
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、地域の皆さまや在勤者の方、学校・企業などと連携し、地域の清掃活動を強化します。



様々な主体との地域清掃活動

親しみやすい区役所を目指して

総務課 (窓口 50・51)

チーム西区役所を支えます。感染症対策を踏まえ親しみやすい区役所づくりを推進するとともに、自助・共助の活動支援や各種訓練等により災害対応力の強化に取り組みます。また、選挙事務や統計調査を適正に進めます。

区政推進課 (窓口 1・49)

西区の情報を様々なツールを活用して発信し、寄せられた皆さまの声を地域課題の解決につなげていきます。さらに、地域・企業・団体の皆さまと連携協働し、魅力と活気あふれるまちづくりを進めていきます。

地域振興課 (窓口 47・48)

コロナ禍の中、ICTを活用した自治会町内会や団体の会議等の支援や厳しい状況にある商店街振興事業を実施します。オリ・パラ開催に向けて機運醸成を図る他、清潔できれいな街づくりや安心安全なまちづくりを進めます。

税務課 (窓口 43~46)

三密対策として令和3年度市県民税の申告期限を延長したほか、固定資産税の評価替を行う中で、市税を適正に課税し、丁寧な説明を行います。また、市税収入を確保し、税負担の公平性を保つため、適切に滞納整理を進めます。

区会計室 (窓口 41)

区民の皆さまの信頼に応える、正確迅速な会計経理事務を行います。また、窓口に来た方や電話でのお問い合わせに対し、わかりやすい説明を心掛け、親切で丁寧な対応をします。

高齢・障害支援課 (窓口 23)

高齢者が安心して馴染みの関係の中で暮らし続けるため、必要な支援やつながりづくりに取り組みます。また、障害のある人の発信できる機会を増やすなど、誰もが住みやすい町づくりを目指します。

こども家庭支援課 (窓口 24・25)

区民サービス向上のため、新たに障害児業務を担当し、母子保健と一体的な支援に取り組むほか、地域・学校・保育所・地域子育て支援拠点等と連携し、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援を行います。

福祉保健課 (窓口 26・27)

新たな「にこまちプラン」の策定を通じ、地域の皆さまのニーズに対応できる取組を進めます。また、区民の皆さまが健康に過ごせるよう、新型コロナウイルスを含む感染症対策や生活習慣病予防、口腔ケアのPRに努めます。

生活衛生課 (窓口 28)

食中毒予防・感染症対策・動物の適正飼育を推進する取組を通じ、地域の皆さまや西区を訪れる人々の食の安全や暮らしの衛生を確保します。特に、大規模な商業施設・宿泊施設に対する衛生指導を重点的に実施します。

戸籍課 (窓口 2~6)

窓口に来られた方を温かくお迎えし、親切・丁寧でわかりやすい説明と、マイナンバー事務等の業務を迅速かつ正確に行います。また、新たに区民になられた方に西区に関する冊子類を一括配付し、区の情報・魅力をお届けします。

保険年金課 (窓口 7~10)

分かりやすい説明や迅速な対応に加え、昨今の情勢を踏まえた支援制度、給付金制度、郵送申請等、状況に応じたご案内を行います。また、関連手続きのご案内や、必要な支援に繋げるため関係部署との連携も強化します。

生活支援課 (窓口 11)

生活に困っている方に寄り添い、親身な相談や的確な支援を通して生活を支えます。特に、ジョブスポットと連携したお仕事探しや家計のやりくりへの支援の充実、子どもの将来の自立に向けた支援に力を入れます。

西土木事務所

道路・下水道・公園の維持管理や、ハマロード・サポーター、公園愛護会の支援を行います。また、区民の皆さまからの要望への適切な対応や、公園での藤の花の再生などの取組を通じ、安全で快適なまちづくりを進めます。

南浅間保育園

子どもの人権と最善の利益を守り、その成長を適切に援助できるよう保育を行います。また、区内の子育て関連施設と連携し、気軽に相談できる場作り等の子育て支援や区全体の保育の質の向上を図ります。

「チーム西区役所」は資源循環局 西事務所や西消防署等とも連携し、地域の皆さまと一緒に課題解決に取り組めます！



3-(2) 令和3年度 西区主要事業の進捗状況について

※下線部は、前回(第1回)市議会議員会議後の変更点等です。

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課) 【予算額 3,096千円(対前年度比 1,272千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により進捗が滞っている第4期計画の策定を、地域の皆さまや関係機関とも連携し、感染拡大の状況も見極めながら進めていきます。併せて地域活動や福祉保健に関心を持っていただけるよう意識醸成にも取り組みます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(3,096千円)

① 福祉保健計画の推進

地域活動の参考となる内容の講座を様々な世代を対象に実施します。区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に区で実施する事業の情報提供や地域とのつながりを深めていく機運を高めるための取組を継続実施します。

活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地域による取組の発表を中心にした、「にこまちフォーラム」を開催します。



にこまちフォーラム

② 広報・啓発

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、にこまちプランの取組目標と関連付けながら、子どもたちが地域とつながりや地域における自分の役割などについて考える機会を創出します。



こども向け啓発

③ 第4期計画の策定

福祉保健の分野に精通したアドバイザーの助言を踏まえ、また、「推進評価委員会」などで各分野の代表からの意見も伺いながら進めていきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然として続いていることから、地区別計画の策定スケジュールを一部変更しました。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、各地区の状況等も踏まえながら状況の変化に合わせて柔軟に策定作業を進めます。



推進評価委員会

【第4期計画策定のスケジュール】

時期	実施事項	実施内容
令和元年12月	推進・評価委員会	第3期計画の振り返り 第4期計画の策定に向けた意見交換等
令和2年3月	策定検討会 (対面開催は中止)	計画の理念や考え方、骨子などを書面にて確認
令和2年8月	策定検討会 (第1回)	素案(大枠)の検討
令和2年11月	策定検討会 (第2回)	素案の検討
令和3年7月	推進・評価委員会	素案の確定
10月	区民意見募集	素案に対する区民からの意見を公募
11月	推進・評価委員会	計画案の確定
12月～	冊子の作成	冊子やリーフレットの作成
令和4年2月	啓発	にこまちフォーラムの開催
4月	計画の開始	

イ 地域連携交流事業【新規】

(区政推進課)
【予算額 600千円】

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域づくり大学校の修了生に対して財政支援を行います。

また、みなとみらいにキャンパスを開設する神奈川大学との連携強化を図ります。

(1) 西区地域づくり大学校修了生支援補助金(300千円)

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向けて負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

■参考：西区地域づくり大学校修了生支援補助金
開始時期：令和3年4月
交付条件：西区地域づくり大学校修了生又は同修了生を含む活動団体
補助額等：限度額5万円/件、最長3年間、必要経費の90%
予 算：300(千円)(内訳：5万円/件、6件)
主な用途：地域活動に必要な会場借り上げ費、印刷費などの経費

(2) 神奈川大学との地域連携交流事業(300千円)

令和3年4月に神奈川大学みなとみらいキャンパスが開設されたことにもない、相互の連携促進を図るための意見交換を行い、多文化共生や地域プロモーション、SDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めます。



地域交流促進の場となることが期待される
神奈川大学みなとみらいキャンパス 1F ラウンジ・ラボ

ウ 地域活動支援の強化

(地域振興課)

(地域活動事業、区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業【新規】)

【予算額 4,569千円(対前年度比 1,669千円増)】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地域の団体等の会議や打合せが相次いで中止となり、その結果、顔の見える関係づくりや情報伝達が滞る等の課題が見つかりました。

コロナ禍の中にあっても地域の絆を繋ぐため、自治会町内会向けICTを活用した会議開催に向けての支援及び区民利用施設にてICTツールの利用を促進する事業を実施します。

(1) 地域活動事業(4,089千円)

① 自治会町内会ICT支援(1,288千円)

市民局が各区の地区連を対象として、ICTを活用した会議体験等の出張講座「横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」を実施しています。

今後も新型コロナウイルスとの共存が続く中、当該事業を契機として、自治会町内会単位でも同様の講座を受講し、ICTへの理解を広めることを目的として、講師派遣による支援を実施します。また、新型コロナウイルス感染拡大時においても、区連会定例会をはじめ、地域や団体の会議が継続できるよう、区民利用施設と連携し、リモートでの会議開催について、通信設備(オフィスWi-Fi)の支援を行います。

■参考：市民局「横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」申込状況		
・第一地区：ソフトバンク株式会社	(会場：山木ビル2階)	受講人数：15人
・第三地区：ソフトバンク株式会社	(会場：藤棚地区センター)	受講人数：8人
・第四地区：ソフトバンク株式会社	(会場：第4地区会館)	受講人数：20人
・第五地区：TVKコミュニケーションズ	(会場：南幸自治会館)	受講人数：18人
・第六地区：ソフトバンク株式会社	(会場：軽井沢自治会館 又は第六地区連合町内会館)	受講人数：20人



講習会(戸部コミュニティハウス)
令和3年5月12日

② 自治会町内会等が実施する地域活動の支援(2,801千円)

自治会町内会長感謝会の開催、自治会町内会依頼業務負担軽減業務(広報物等の運送)、防災情報付広報掲示板整備補助事業(防災情報の共有促進)

(2) 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業(480千円)【新規】

地域に根ざした区民利用施設においてICTツールの利用促進を行うことで、これまで手順等の煩雑さ等から利用してこなかった区民においてもICTをより身近に感じることができ、利用の普及に繋がっていくことを目的として、事業を実施します。

地区ごとに、対象の区民利用施設を設け、サークル活動や会議で来館した利用者にICTツールを利用する場の提供を行います。

■参考：対象の区民利用施設			
第一地区	戸部コミュニティハウス	第五地区	西地区センター
第二地区	西前小コミュニティハウス		平沼集会所
第三地区	藤棚地区センター	第六地区	浅間コミュニティハウス
	稲荷台小コミュニティハウス		軽井沢コミュニティハウス
第四地区	老人福祉センター横浜市野毛山荘	共通	区民利用施設協会事務局
	東小コミュニティハウス		

エ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,268千円(対前年度比 210千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂予定)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(971千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展や講演会を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザーを派遣します。(区2回、包括4回)

③ 「地域で見守りガイドブック」の普及啓発

地域ケア会議で作成した「地域で見守りガイドブック」について、関係団体等を通じての配布や広報よこはま西区版への掲載により普及を図っています。

研修資料を映像化し、関係機関に配布しました。

令和2年度に作成した企業向けの「配達企業も地域で見守りガイド」についても協力企業への配布を進めています。



地域で見守りガイドブック

④ 支援者向け「連絡カード」の作成

緊急時のネットワーク構築に向け、支援者(主にケアマネジャー)が把握している要支援者に対して配布をしてもらうよう、これまで自治会町内会経由で配布を行ってきた「あんしんカード」をより細やかな内容に改訂します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(1,326千円)

① 認知症予防講演会の開催

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組について紹介します(8月)。

また、講演会を録画し、YouTube等で配信します。

② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

③ 認知症普及啓発を担う人材に対する育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数158名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(6月、2月)

(3) 健康づくり・介護予防事業(971千円)

① 西区ご当地体操「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

ころばんよ体操の効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防)にオーラルフレイル予防を加えた「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」の普及啓発と、地域における自主的活動の活性化に努めます。また、後期高齢者や障害者でも取り組みやすいバージョンを作成し、より多くの区民の方の健康づくりのため活用します。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防活動を担う人材に対する育成研修等の実施(健康福祉局 区配事業)

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数17名)等の人材育成研修を開催します。また、介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を図ります。(6月、7月)



げんき活動応援団

③ 介護予防に関するリーフレットの充実

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、屋外で活動している団体や健康遊具のある公園を記載した別冊を作成し、コロナ禍で取り組める介護予防活動等を啓発します。(6月)



「お元気活動応援マップ」
「健康づくり活動・グループ紹介」

オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,119千円(対前年度比 331千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,321千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に周知します。
(9月～3月)(4か所)

② 区民まつりでの啓発

障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施します。(11月)

③ 西区ふれあい作品展

障害者週間に合わせて、西区域の個別支援学級に通う中学生や障害のある人たちの作品を展示します。(12月)(2か所)

④ 西区版ヒューマンライブラリー

障害者や社会的マイノリティーの方と少人数での対話を通じて相互理解を促す取組を実施します。(10月、2月)



ふれあい作品展の作品



ヒューマンライブラリーの様子

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(315千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進める取組を実施します。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への周知と計画の作成勧奨をします。
(通年)

② ガス式発電機等を設置した福祉避難所6か所と連携した訓練の実施

災害時にガス式発電機をすぐに使えるように、福祉避難所と連携した稼働訓練を実施します。(2月)(6か所)

③ 災害対策用品ニーズ調査・啓発事業

電源を要する医療機器を使用している方を対象に、非常用電源機器の貸出事業を実施します。また、当該機器を貸与した方を対象に、当該機器を用いた非常時を想定した訓練を実施します

(3) 障害者生活体験事業(483千円)

西区版生活支援拠点のモデル事業として、精神障害者等が自立するためのステップとしてマンスリーマンションを活用するなどして生活体験を行う場を提供します。

より実際の一人暮らしに近い状態が体験できるよう、必要なヘルパーの派遣等を新たに実施します。(9月、1月)

人工呼吸器や吸引器を使用している人

「わたしの災害対策ファイル」を作成しましょう

電源が必要な医療機器を使用している人に、必要な備えや発災時の対応を確認するためのファイルをお渡ししています。ファイルを活用し、日ごろから停電や災害時の避難に備えましょう。



災害対策ファイル 検索

配布場所 区役所2階22番窓口

問合せ 障害担当
☎320-8417 ☎290-3422



マンスリーマンションの部屋

カ 健康づくり応援事業

(福祉保健課)

【予算額 1,850千円(対前年度比 73千円増)】

市民の健康づくりの指針である第2期健康横浜21を推進し、区民の大きな健康課題である生活習慣病を予防する取組を進めるとともに、区民が自身の健康に関心を持つ機会を提供します。併せて、関係団体と協力しながら区民の主体的な健康づくり活動を支援します

また、新型コロナウイルス感染症に係る新しい生活様式の内容を含めた健康情報を発信します。

なお、各取組は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮した上で、関係団体と相談しながら実施方法を検討します。

(1) 健康づくり応援イベント(308千円)

高齢者を対象とした「歯と口の健康週間」事業において、歯科医師会と共催で歯科医師による講演会と歯科相談を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症等に係る新しい生活様式の内容をふくめた健康情報の展示・体験・相談等を行い、区民が健康について関心を高めるきっかけづくりを実施しました。(6月、参加者62人)



健康づくり応援イベント

(2) パネル展等での情報発信(555千円)

市民が多数来所する場(中央図書館等)で新型コロナウイルス感染症等の健康情報パネルを掲示することで、地域住民の身近な場所でも健康情報に触れられるようにします。(8月～9月)

また、西区ツイッターを利用し、時宜にかなった健康情報を配信します。

(3) 食育推進事業(710千円)

会議の円滑な運営と関係団体間の情報共有の促進が図られるよう事務局として補助し、研修会や区内の食育推進活動事例を紹介するパネル展を実施します。(2月)

(4) 保健活動推進員等の活動支援(277千円)

令和3年4月に新たに委嘱された保健活動推進員について、新型コロナウイルス感染症の状況に配慮しながら団体の活動を支援します。

キ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 3,360千円(対前年度比 299千円減)】

(1) 西区で子育て学び隊事業(2,670千円)

本市の平均と比較して出生数に占める第1子の割合や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援を進めます。

① プレパパママクラス・よちよちパパママ育児教室

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち妊娠による身体の変化を学び、妊婦疑似体験などを行う講座について、平日に参加できない妊婦とパートナーが参加できるように土曜日に開催します。

また、初めてのお子さん(生後3～7か月)を持つ両親を対象に、父親の育児参加の啓発やふれあい遊びなどを学ぶ「よちよちパパママ育児教室」を土曜日に開催します。(両事業とも年6回)

※5月22日実施：プレパパママクラス 17組参加

：よちよちパパママ育児教室 5組参加



プレパパママクラス

② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的とした「赤ちゃん教室」を区内の9か所で実施します。感染症拡大防止のため、令和2年10月からは月齢に応じた2部制で開催しています。(年10回×9会場)

※4・5月実績：13回開催 141組、289名参加



赤ちゃん教室

③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、いのちの始まりや胎児の成長に関する講話、沐浴体験、地域の母子とのふれあい体験などを通じて、育児や親の想いを知り、いのちの大切さを学ぶ「中学校いのちの教室」を実施します。

④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育所等一覧による子育て情報の提供などを行います。



中学校いのちの教室

(2) 女性と子どものための相談支援強化事業(690千円)

子どもの発達の特性に気が付いていない保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズを受ける機会を設けます。

※臨床心理士による個別相談：4・5月実績 2回 13件実施

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 4,400千円(前年度同額)】

東京2020オリンピック・パラリンピックやガーデンネックレス横浜の開催に合わせて、来街者が増加する機会を捉え、区内の魅力資源を発信し区内の回遊を促進します。

(1) イベント等を契機としたまちの回遊促進(2,000千円)

オリンピック・パラリンピック等の来街者が増加する機会を契機に、ガイド情報誌やまち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の回遊を促進します。

① ガイド情報誌(日本語版・英語版)の配布

ガイド情報誌「ことりっぷ横浜西区さんぽ」(日本語版・英語版)を配布し、来街者へ西区の魅力を発信します。なお、コロナ禍における外国人観光客の来街状況を踏まえ、英語版の増刷は見送ることとし、引き続き効果的な配布を行います。

■参考：ガイド情報誌の発行実績

「ことりっぷ横浜西区さんぽ」	発行:平成30年3月(初版)、9月(増刷)
	発行部数:初版2万部、増刷2万部 計4万部
「Discover Yokohama Nishi」	発行:令和元年7月(初版)
(英語版)	発行部数:5,000部



「温故知新のみち」案内サイン

② まち歩きルート「温故知新のみち」の活用

来街者の増加が見込まれる都心部エリアについては、多くの人にご活用いただけるように案内サインの地図情報の更新を行います。

(8月)

また、より幅広い層へのまち歩きの促進を図るため、健康づくり等の視点を加えた周知を行っていきます。



三菱ドック踏切通路
現在の様子(R3年5月)

③ 三菱ドック踏切通路の美化

MM21地区と既成市街地の接続ポイントである三菱ドック踏切通路において、今後の来街者が増加する機会を捉えて、引き続き環境改善に向けた取組を行います。

■参考：関連する局事業

- ①地下鉄高島町駅周辺歩行者環境改善方策検討事業(都市整備局)
安全で快適な歩行者環境の整備に向けた、令和2年度の実施取組を踏まえた調査検討
- ②東横線廃線跡地の整備(都市整備局・道路局)
廃線跡地の調査設計及び利活用検討

(2) 地域資源を活用したまちづくりの推進(2,400千円)

「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用して区内の回遊性を高めます。また、区民・企業・団体等の多様な主体と連携し、花と緑のまちづくり活動を推進するため、体制を整備するとともに、苗・種等の配布を実施し、身近な場所での花と緑づくりの機会を作ります。



「ガーデンネックレス横浜」事業と連携した取組



区内での花と緑づくりの活動(浜松町公園)

ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額3,114千円(対前年度比 1,853千円減)】

東京2020オリンピック・パラリンピック開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高めるための取組を進め、まちの賑わいを創出します。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、“経営状況はかなり厳しい”との声が店舗、特に飲食店から届いています。そのことを踏まえ、商店街の振興や店舗への支援、周辺の地域資源の魅力を発信するため、効果的な事業及び広報を実施します。

(1) 商店街連携回遊性向上事業(2,038千円)

① 商店街を巡るスタンプラリーの開催

昨年度に引き続き、商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」及びこれに続く「商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～」を開催します。

広く区民及び来街者に西区商店街の魅力発信を行うことで、商店街振興やまちの賑わいを創出します。

令和3年度は、参加商店会を8商店会から10商店会へと拡大して実施していきます。

(拡大分：羽沢通り商店会、西区役所通り中央商店会)

また、特に厳しい状況にある飲食店の支援として、スタンプラリー参加者(先着・希望者)に対し、店内での飲食を提供している店舗を対象にした「西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～」を開催することで、身近な飲食店舗の魅力の再発見及び来店するきっかけづくりなど支援に繋がります。

■令和3年度開催時期

ア 西区商店街スタンプラリー 8月1日～8月31日

イ 西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～ 9月20日～10月31日

【昨年度冊子等】



スタンプラリー冊子及びステッカー(令和2年度)



食べ歩き冊子及びステッカー(令和2年度)

② オウチで西区商店会！

新型コロナウイルス感染症が拡大している中、依然厳しい状況にある飲食店を支援するため、「オウチで西区商店会！」として、テイクアウトに対応している店舗を西区ホームページやデジタル観光マップ、西区公式Instagramに掲載し周知することで、区民や来街者の利用促進に繋がります。

飲食店舗への参加登録を働きかけ、店舗の充実を図ります。また、他の広報媒体等を活用し、更なる利用促進と店舗の拡大について取組を進めます。



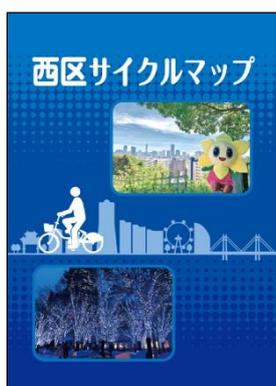
オウチで西区商店会！
登録店舗ステッカー

中国料理 八角 (浅間下商店街ニッコリ会)	
【対応可能】持ち帰り	
【取扱商品】中国料理	
【所在地】横浜市西区浅間町1-20-2石川ビル1階	
【電話番号】045-548-3518	
【営業日時】11:00~14:30、16:30~22:30 (月曜休み)	
【PR】地元を愛する、地元に愛される本格的中国料理です。	
【商品メニューはこちら！】(PDF:97KB)	

オウチで西区商店会！ 西区公式ホームページ(抜粋)

③ バイバイクでまわる西区サイクルマップ

平成31年3月に発行した「西区サイクルマップ」は、持ち運びの便利さとマップの見やすさが好評で、令和2年11月に増刷を行いました。増刷に伴い、桜や紅葉スポットを追記した他、新たに藤の花スポットやビューポイント等の紹介を行い、新旧市街地の回遊性向上を図っています。今後は来街者の動線を意識し、区内ホテルや神奈川大学等への配布を行っていきます。



西区サイクルマップ(表紙)



西区サイクルマップ(藤棚及びビューポイント)

■参考：西区サイクルマップ

発行：令和2年11月（ふるさと西区推進委員会）

発行部数：10,000部

配布場所：西区役所、各観光案内所、区内地区センター、コミュニティハウス 等

■増刷に伴う追加項目

桜スポット：10か所→21か所

紅葉スポット：6か所→9か所

藤の花スポット：（新規）13か所

ビューポイント：（新規）15か所

特記事項：自転車損害賠償責任保険加入義務化、自転車に乗る時のルールとマナー、
バイバイク利用前後の手洗いや消毒の推進、オウチで西区商店会！、
西区デジタル観光マップのPR 等

(2) まちの賑わい創出事業(1,076千円)

① デジタル観光マップを活用した商店街情報発信事業

スマートフォンを使って手軽に検索できる「デジタル観光マップ」を活用し、スタンプラリーやオウチで西区商店会！の登録店舗、商店街振興事業への協力店舗を紹介することで、区内商店街への来街者の増加を図ります。



西区デジタル観光マップ投稿(一部)



スマホ画面表示イメージ

② インスタグラム事業

写真に特化した魅力発信ツールの「インスタグラム」を活用し、イベント情報や区の景観・建造物等の魅力をPRすることで、フォロワー数と来街者の増加を図り、まちの賑わいづくりに繋がります。

また、コロナ禍におけるSNSでの情報発信の需要にあわせ、広報よこはまへの掲載やキャンペーンの開催について検討し、アカウントの周知を図ります。

さらに、既存のInstagram周知媒体(しおり)を活用し、SNSでの関連付けである「#ハッシュタグ」にて投稿者と西区公式Instagramとの連携を呼びかけることで、利用者に西区に関連した投稿を促します。



西区公式Instagram投稿写真(一部)



西区Instagram周知媒体(しおり)

■参考：西区公式Instagram (令和3年5月12日現在)
投稿数 : 141件
フォロワー数 : 1063人

③ ガイド情報誌の配布

「ふるさと西区情報誌」を新たに作成し、在住者・来街者に西区の歴史、魅力を発信します。

なお、コロナ禍における外国人観光客の来街状況を踏まえ、「ことりっぷ横浜西区さんぽ」英語版の増刷は見送ることとします。



各イベントのチラシ(令和元年度)

コ 西区民まつり（主催：西区民まつり実行委員会）

（地域振興課）

【予算額 6,007千円(対前年度比 307千円増)】

西区では新旧市街地住民の連帯意識を高めるための交流推進が課題となっています。

西区民まつりは、区民による区民のための交流事業として、地域との連携と共生を図り、顔の見える関係づくりや情報発信を充実させ、地域活動の活性化を図ることを目的に昭和51年から開催しています。

令和2年度の西区民まつりは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を断念しました。令和3年度も、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、検討を行っています。

(1) 西区民まつり事業（6,007千円）

令和元年度は、戸部公園や西前小学校を会場として、次の内容で実施しました。

戸部公園：くらしの広場（飲食ブース等）、健康広場（健康チェック等）、
ステージ（ダンスや楽器演奏等）

西前小学校：子どもの広場（ミニSL乗車、射的等）

※令和3年度の実施内容については、西区民まつり実行委員会で決定します。



ステージ(令和元年度)



子どもの広場(令和元年度)



くらしの広場(令和元年度)

サ ふるさと西区魅力発信事業（主催：ふるさと西区推進委員会）（地域振興課）
【予算額 4,845千円(対前年度比 655千円増)】

西区虫の音を聞く会は、横浜開港の立役者である「井伊掃部頭直弼公^{いいかもんのかみなおすけこう}」が伝統芸能や茶道に通じた文化人であったことから、銅像のある掃部山公園で、野点（屋外での茶会）や琴・尺八の演奏等を行い、和の伝統文化を楽しみながら区民の交流を深める催しとして、昭和40年から開催しています。

令和2年度の西区虫の音を聞く会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を断念しました。令和3年度は、感染症対策を含め、コロナ禍での開催方法について検討を行っています。

(1) 西区虫の音を聞く会（2,387千円）

掃部山公園内に献灯や万灯、雪洞を灯し、ろうそくの幻想的な灯りの中、鈴虫の音と共にお楽しみいただける内容をふるさと西区推進委員会で検討しています。

なお、飲食を伴う出店については、感染の状況や他のイベントを考慮し、推進委員会において出店を見送ります。

また、次年度以降の開催に向けて、万灯の補修を実施します。



会場の様子(銅像前広場の万灯)
(令和元年度)



会場の様子(園道の雪洞)
(令和元年度)

■参考

昭和40年から始まり、令和元年度に第55回を開催しました。

(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止)

入場者数：約10,000人(令和元年度) ※新元号を祝して彦根鉄砲隊による火縄銃演武を実施。
約8,000人(平成30年度)

(2) 横浜かもんやま能、MM地区とのつながり推進事業等（2,458千円）

横浜開港に大きな功績のあった井伊直弼公ゆかりの演者・演目による能と狂言の鑑賞会の開催、MM地区での西区キャンドルアートの開催等により区民の一体感を強めるきっかけづくりを行います。

シ スポーツ振興等事業

(地域振興課)

【予算額 4,175千円(対前年度比 300千円減)】

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、地区センター等の身近な施設で競技種目の体験会や大会グッズの展示等、区民がスポーツに親しむ機会を提供します。

また、大会終了後は、大会のレガシーを残す取組を実施します。さらに、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせたスポーツ振興(3,400千円)

① 東京2020大会機運醸成

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機として、身近な場でオリンピック・パラリンピックに親しめる機会として区内施設と連携し、大会グッズの展示等を実施しました。(令和3年3月24日～令和3年4月28日) 今後は、小学校や区庁舎内での展示を実施します。

また、横浜FCの御協力によりホームゲームに区民等を御招待や優待する「にし区民DAY」を開催します。(開催日：令和3年6月27日)



東京2020大会グッズ啓発展示
(藤棚地区センター)



こどもサッカースクール
(令和元年度)

② ハマのウォーキングフェスティバル

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを開催します。令和2年度は、800名募集のところ1,031名の申込みがあり、当日は671名が参加しました。屋外での実施ではありますが、参加者が多数集まるイベントであるため、昨年実施したキャッシュレス決済を引き続き行い、更に感染症対策や会場での演出等、開催方法を十分に検討し実施します。



スタート会場(戸部公園)
キャッシュレス決済の導入
(令和2年度)



スタート会場(戸部公園)
非接触での物品のお渡し
(令和2年度)



ゴール会場(臨港パーク)
(令和2年度)

(2) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業

(西土木事務所)

【予算額 2,353千円(対前年度比 300千円増)】

西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。区内の花壇がある公園に対し花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことにより、季節感のある緑や花による憩いの空間づくりを進めます。

また、西区内の公園のうち、8公園に藤棚が整備されていますが、開花の時期になっても藤棚全体に花が広がらず、乏しい状態となっています。そこで、藤棚全体に花を咲かせるため、藤の育成・維持管理の手法を構築するため専門家に講師を委託し、引き続き藤棚の再生に取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら、取組を進めます。

(1) 公園・施設等の緑化推進(1,553千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

花苗や球根を購入し、公園愛護会を中心に花苗植え作業を行います。5月17日から春の花苗植えを開始しており、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底することにより、例年通り公園によっては保育園児や小学生なども参加し、土木事務所職員とともに協働して作業を行っていきます。

(年2回、31公園)



公園での花苗植え作業

(2) 藤の花再生プロジェクトの推進(800千円)

① 公園の藤棚による維持管理の試行

区内の藤棚がある公園にて、藤棚再生に向け藤棚に関する維持管理の有識者を講師として選定し、昨年度に引き続き剪定作業時にアドバイスを頂きながら維持管理を試行し、維持管理方法の確立を目指します。6月中旬には講師を選定し、夏の作業に入ります。(通年)



浜松町公園の藤棚

② 地域への維持管理手法の共有

公園にある藤棚だけではなく、地名の由来となっている藤棚商店街の藤棚をはじめ区内にある他の藤棚でも再生につながるように、他の施設などと情報を共有していきます。今年度も共同で夏季作業を学ぶ場として、6月下旬には藤棚の管理者向けの講習会を予定しています。また、7月2日には「お庭で育てる藤の管理作業」と題した個人向けの夏季作業の講習会を実施し、さらなる藤の花を通じた地域のにぎわい活性化を目指します。(通年)



藤棚地区センターの藤棚

③ 藤の花再生プロジェクトの情報発信

昨年6月19日からツイッターでの情報発信を開始、引き続き管理作業のポイントや藤棚の紹介などをツイートしていくとともに、西土木事務所のホームページでも同時に情報発信を行います。(通年)



ツイッターでの情報発信

セ 広報充実事業

(区政推進課)

【予算額 2,728千円(対前年度比 386千円増)】

新型コロナウイルス感染症や防災・安全関連情報等、必要な情報を迅速・的確に発信するとともに、情報のデジタル化や多言語対応を推進し、誰もが手軽に情報を入手できる環境を整えていきます。また、西区の行政情報や魅力スポット情報を、様々な媒体を活用して発信していきます。

(1) 広報印刷物のデジタル化・多言語化(495千円)

デジタルネイティブ・外国人住民の方、在勤者の皆さんなど、より多くの人に手軽に行政情報を受け取ってもらうため、無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket (カタログポケット)」を導入し、「広報よこはま西区版」など暮らしに関する情報を10言語で配信開始しました。音声読み上げ機能やユニバーサルフォント表示機能も付いているため、世代を問わずあらゆる人に使いやすいアプリとなっています。

今後は、アプリの活用について広く周知をするとともに、掲載内容の充実を図っていきます。



■参考：Catalog Pocket (カタログポケット) 概要

公開日：令和2年12月22日

主な特色

- ・10言語に自動翻訳
{日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)・タイ語
ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語}
- ・自動音声による読み上げ機能(ベトナム語を除く)
- ・弱視や高齢の方にも見やすいユニバーサルデザインフォント対応
- ・文字を拡大表示するポップアップ機能
- ・新規配信をプッシュ通知でお知らせ

(2) 各種広報事業(2,233千円)

これまでの紙媒体情報発信に加え、ホームページ・デジタル観光マップ等、電子媒体を活用し、在住・在勤問わず、幅広い年齢層へ情報を発信します。また、新しい生活様式を踏まえ、自宅で講習会・講演会等を視聴したり、西区の事業や魅力を楽しんでいただけるよう動画配信も行っています。

■参考：西区ホームページ「#にしまろちゃんねる」

- 西区の事業や魅力を動画で発信。
- ・多言語電子ブック「カタログポケット」紹介動画
- ・「まちかど緑のボランティア」花壇づくり
- ・野毛山動物園 動物紹介(キリン・ヨウスコウワニ)
- ・三菱ドック踏切通路壁面掃除の様子



デジタル観光マップイメージ

ソ 西区環境行動推進事業

(区政推進課)

【予算額 2,106千円(対前年度比 802千円減)】

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

(1) 区民・事業者・行政が一体となった取組の推進(1,816千円)

プラスチック等による海洋汚染問題への対策等、環境に配慮した具体的な行動の実践の拡大・定着・浸透を目指し、区民参加型取組「にしくecoチャレンジ」を実施します。

また、区内企業・団体等の環境配慮行動をPRする「SDGsパネル展」を開催し、区民の方が各活動への興味関心を持てるような機会を提供します。

■参考1：にしくecoチャレンジ2020

実施期間：令和2年11月2日(月)～令和3年1月15日(金)

事業概要：環境配慮行動及び感染症拡大防止に向けた新たな生活様式の実践を促すため、これまでに取り組んだことのない新たな3つの取組にチャレンジし応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。

参加企業・団体数：18社

参加者数：248名

取組メニュー（一部）

- ・環境に配慮した買い物をしよう
(マイバックの持参や、必要な分だけ購入、横浜産野菜の購入など)
- ・食べきり協力店で残さず食べよう
- ・SDGsパネル展について、理解を深めよう
- ・徒歩やシェアサイクルなどの自転車利用も併用して



にしく eco チャレンジ2020
パンフレット

■参考2：SDGsパネル展

開催期間：令和2年11月17日(火)～12月27日(日)

期間中、区内4会場にて巡回展示

- ①みなとみらいギャラリー
- ②ヨコハマくらし館
- ③新都市プラザ
- ④相鉄ジョイナス

事業概要：区内企業・団体におけるSDGs達成に向けた取組や感染症拡大防止に向けた取組を、各社概要等と共にパネルで紹介。

参加企業・団体数：18社(にしくecoチャレンジ2020参加企業と同じ)

来場者数：1,219名



SDGsパネル展
(ジョイナス地下1階四角広場)

■参考3：神奈川大学でのSDGsパネル展示

開催場所：神奈川大学みなとみらいキャンパス

開催期間：令和3年4月14日(水)～展示中(5月31日時点)



神奈川大学でのパネル展示

(2) 産官学連携による次世代を担う子ども達への環境学習支援(290千円)

将来を担う子どもたちや子育て世代への環境配慮行動の理解促進を図るため、区内の企業・団体や神奈川大学等と連携し、産官学連携による環境学習イベント等を実施します。

タ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,858千円(対前年度比 539千円増)】

清潔で美しい街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、地域清掃活動の支援や3R行動の推進を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応として、オンライン講座など新しい生活様式を取り入れた取組を積極的に事業展開し、事業効果の最大化を図ります。

(1) ごみの減量・リサイクルの定着を図っていく事業(146千円)

コロナ禍において、今後もテイクアウトやまとめ買い等によるワンウェイプラスチックごみの増量が見込まれることから、資源循環局西事務所と連携し、区内全集積場所(約2,300か所)に分別啓発チラシを貼付する他、月替わりの懸垂幕による視認啓発を継続します。



集積場所貼付チラシ



集積場所貼付イメージ
(5月末:約 1,100 枚貼付済)



懸垂幕(西事務所)



懸垂幕(4種類)

(2) 3R行動を推進していく事業(297千円)

企業協力による店頭での啓発を新しい生活様式を取り入れた方法で実施していきます。また、プラスチック対策として、企業と協力し、啓発物品の包装に木材を原料としたセロファン*を使用します。*海水中での生分解性を証明する国際認証「OK biodegradable MARINE」を取得
資源循環局と西区社会福祉協議会が覚書を締結しているフードバンク事業へ資源循環局西事務所と連携して協力していきます。(通年:令和2年度実績 74点23kg)



協力:サミット横浜岡野店



啓発物品の包装
(セルロファン)



フードドライブ実施
(実施場所:資源循環局西事務所)

(3) こどもたちの環境学習を支援していく事業(394千円)

(公財)横浜市資源循環公社との連携、企業との協力のもと、区内小学校を対象に新たに資源選別センターと教室をつなぐ「ペットボトルリサイクルオンライン講座」を実施します。また、リサイクルびんと廃油を使用したエコキャンドル作りをオンライン講座と併用して行い3Rの理解を深めます。



オンライン講座
(令和2年度)



資源選別センターと中継



キャンドル制作

チ 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,424千円(前年度同額)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、交通安全教室の開催や啓発キャンペーン活動、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を実施しています。

(1) 小学校への交通安全教育事業(200千円)

感染症対策が続く中においても、児童への交通安全教育は子ども達の安全を確保するための大切な取り組みです。

特に新1年生に対する「歩行訓練」は各小学校から要望が強く、早期の実施が求められているため、戸部警察署、戸部交通安全協会、西区役所の3者で連携し全小学校で実施しています。また、実施内容については、各小学校の要望を受け、実状に即した内容で感染症対策を講じた上で交通安全教室を開催しています。



戸部小学校交通安全教室
(令和3年4月26日実施)

(2) 交通安全運動推進事業(1,094千円)

感染症対策を行いながら各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、パネル展や啓発物品の配布等により、区民をはじめ、来街者へ交通事故防止を呼びかけています。

また、タウン誌へ啓発記事を掲載するなど広報活動を工夫しながら事業を実施しています。



秋の全国交通安全運動
(令和2年度)



春の全国交通安全運動
(令和3年4月6日実施)

(3) スクールゾーンにおける安全対策(1,130千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、活動助成金を交付し運営の支援を行うとともに、協議会の協議に基づき、自治会・町内会、警察、関係団体とともに通学路の安全設備等（路面標示の補修・新設、電柱巻等）の整備を行います。



路面標示



電柱巻

ツ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,004千円(対前年度比 7千円減)】

特殊詐欺被害の防止など区民が安心して生活できるまちづくりの推進のため、「地域の安全は地域で守る」をテーマに、地域住民や警察署、防犯協会等と連携し、防犯啓発活動を強化しています。

(1) 防犯情報提供・意識啓発事業(472千円)

犯罪被害を未然に防ぐため、戸部警察署と連携し、犯罪手口にあわせた防犯啓発チラシの作成・区民への配布、広報よこはまでの注意喚起、区内で発生した犯罪情報のリアルタイムなメール配信等を継続的に実施しています。

また、タウン誌へ注意喚起の記事を掲載するなど広報活動を積極的に行うとともに、防犯関係団体が一堂に会する「地域安全西区民のつどい」を開催します。

防犯活動は交通安全事業と一体的に取り組むことで、さらなる防犯意識の啓発、犯罪被害の抑制を図ります。

(2) 青色パトロールの実施(1,532千円)

特殊詐欺及びこどもの防犯対策のため、戸部警察署及び民間警備会社と連携し、青色(防犯)パトロール活動を実施しています。

■参考

- ・防犯メール配信件数 令和3年5月末現在：5件(メーリングリスト登録件数：約1,450件)
- ・特殊詐欺被害額等 令和3年4月末現在：約100万円(件数：1件)
(令和2年度実績：約9,700万円/14件)
- ・青色パトロール実施回数 令和3年5月末現在：8回(週1回程度、年48回実施予定)



タウン誌掲載記事
(令和3年1月21日掲載)



タウン誌掲載記事
(令和3年5月7日掲載)



防犯啓発物品の配布(令和2年度)
(コロナにまけるな!西区元気プロジェクト2020)



青色パトロール

テ 食中毒・感染症予防対策事業

(生活衛生課)

【予算額 1,174千円(対前年度比 100千円増)】

西区の食中毒・感染症予防対策を推進するため、食の安全の確保事業、動物・昆虫媒介感染症対策事業、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る啓発事業を実施します。

(1) 食の安全確保事業(436千円)

① 食品取扱施設の衛生確保事業

ホテル・商業施設内の飲食店、イベント出店施設、社会福祉関連給食施設などを対象に、配布資料や清浄度検査機器を活用した効率的・効果的・わかり易い衛生指導を実施し、食品取扱施設の衛生確保を支援します。

② 食の安全に関する情報発信事業

食品衛生責任者、地域活動の担い手、一般消費者に対する食品衛生講習会、市バス乗客に対するカンピロバクター食中毒予防動画の放映、福祉保健センター主催の教室・会議参加者に対する食中毒予防注意喚起ロゴ入り除菌ウエットティッシュの配布を通じた食の安全に関する情報の発信により、食中毒の未然防止を図ります。

(2) 動物・昆虫媒介感染症対策事業(60千円)

① ねずみ、衛生害虫媒介感染症の防除啓発事業

区民・ビル管理者・ビル所有者に対する、パネル展、啓発チラシ配布を実施します。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(100千円)

① 感染予防に関する情報発信事業

商業施設、宿泊施設、食品取扱施設、イベント出店施設に対するリーフレットの配布(4、5月実績:200部)、来庁者等に対するロゴ入り除菌ウエットティッシュの配布(4、5月実績:50個)により、感染予防に関する情報を発信します。

② 室内換気啓発事業

大規模建築物、区民利用施設、生活衛生関係営業施設への訪問及び機器貸出しによる室内二酸化炭素濃度の「見える化」を図り、感染症予防における換気的重要性を周知します。加えて、5月からは区民利用施設等を対象にCO₂モニターの無料貸出しを開始し(5月実績:1台)、同モニターの各施設への導入を推進しています。



CO₂モニター本体



CO₂モニター 窓口設置

ト 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 13,003千円(対前年度比 230千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,522千円)

① 新型コロナウイルス感染症対策の強化と多様な避難者への対応支援

新型コロナウイルス感染症対策を講じた地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、避難所スペースの拡充を図るとともに、対策用物品を追加配備します。危機管理室作成の感染症対策を踏まえた拠点開設運営スターターキットを各拠点に用意します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう各拠点の実情に対応した支援を行います。



一本松小学校地域防災拠点訓練
(避難者の受入れ訓練)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(8月30日防災週間～3月11日、年1～2回)

訓練の実施にあたっては、令和2年度西区地域防災拠点での取組事例や、危機管理室作成の感染症対策のために推奨する訓練例を各拠点と共有し、新型コロナウイルス感染症を踏まえた訓練の実施を支援します。



拠点開設運営スターターキット

(2) 区本部の防災機能強化(6,743千円)

① 震災・風水害対策の強化及びICT機器の導入

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練を実施します。

- ・風災害対策訓練(6月4日)
- ・震災対策訓練(11月)

また、感染症対策などを踏まえた物品の整備や、全方位カメラ等のICT機器を新規に導入・活用し、発災時における区本部における情報収集の強化を進め、災害対応力を強化します。

② 帰宅困難者一時滞在施設との連携強化

昨年度協定締結したJR横浜タワー及びパシフィコ横浜ノースと新たに訓練を実施するなど、各帰宅困難者一時滞在施設との連携強化を図ります。

・JR横浜タワーでの帰宅困難者対策訓練（6月10日）

③ 災害医療対策の推進

医療救護隊巡回訓練（9月）や区内医療機関・医療局との通信訓練（隔月）、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会（2月）を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(4,738千円)

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携しての啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考1：感震ブレーカー補助実績
令和2年度：447個（令和3年3月末）
令和元年度：206個 / 平成30年度：413個
■参考2：初期消火器具更新実績
令和2年度：17基（令和3年3月末）
令和元年度：7基 / 平成30年度：14基

② 区民への防災・減災の普及啓発

防災・減災に関する啓発のために、区民を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーの実施に向け、5月の小中学校長会にて周知しています。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた実施方法を検討します。

災害時における新型コロナウイルス感染症対策の一環として、在宅避難に関するリーフレットを作成し、啓発を進めます。（12月発行予定）

また、出水期を控え、風水害への備えについて、浸水想定区域内の避難が必要と思われる要援護者へ、緊急時情報伝達システム登録案内等の配布（4月）や、広報よこはま西区版5月号で特集を組み、啓発を実施しました。

③ 普及啓発の多言語化への対応

無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket（カタログポケット）」等を活用し、外国籍の住民でも防災情報を容易に入手できるよう多言語化を図り普及啓発します。

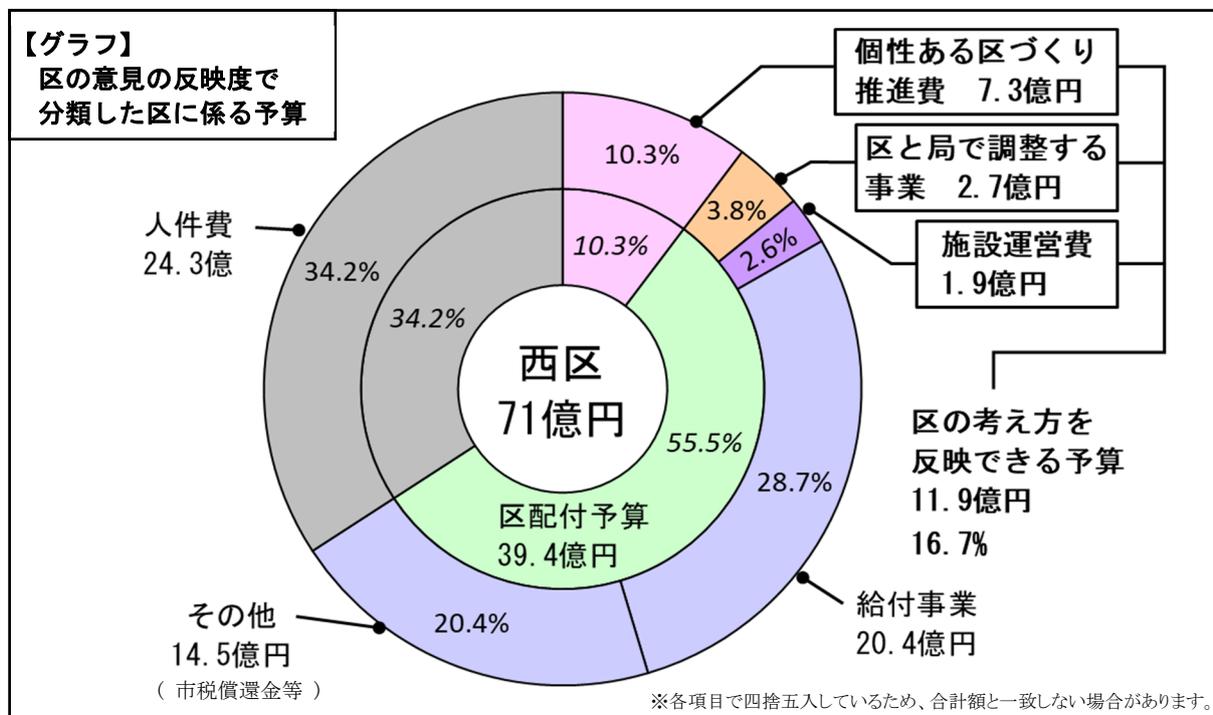
令和2年度に公開した「もしもにそなえる防災ノート」に引き続き、「小・中学生向け防災ガイド」及び「シニア世代のための防災リーフレット」を掲載しました。
（5月）

3-(3) 西区に係る予算のすがた(令和3年度 一般会計予算)

横浜市の一般会計の規模は、2兆73億円です。

18区が執行している予算の規模(区の人件費含む)は、2,075億円です。

このうち西区では、71億円を執行しています。



予算の特徴

- 令和3年度の西区の一般会計予算規模は、71億円です。
区民一人あたりに換算すると68千円(全市平均55千円)を支出しています。
- 西区では、「個性ある区づくり推進費」は、全体の10.3%(7.3億円)です。
また、局から予算配付を受けて執行する「区配付予算」は、55.5%(39.4億円)です。
- 「個性ある区づくり推進費」に、「区配付予算」の「区と局で調整する事業」と「施設運営費」を加えた、16.7%(11.9億円)が区の考え方を反映できる予算です。
残りは、生活保護などの給付事業28.7%(20.4億円)、その他(市税償還金等)20.4%(14.5億円)、人件費34.2%(24.3億円)の義務的経費です。

分類	予算 (百万円)	説明
区に係る予算	7,100	
個性ある区づくり推進費	728	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
区配付予算	3,943	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区と局で調整する事業	271	市の施策を推進するにあたり、区と局が企画連携して展開する予算 【主な事業】健康福祉局：地域福祉保健計画推進事業
施設運営費	187	施設を運営する上で、施設ごとに一定の基準を有する予算 【主な事業】健康福祉局：地域ケアプラザ運営事業
給付事業	2,037	対人給付に係る経費。全市一律のサービス水準の確保が前提となる事業 【主な事業】健康福祉局：生活保護費
その他	1,449	【主な事業】道路局：道路修繕費、財政局：市税償還金等
人件費	2,428	

【参考】主な事業内容

分類	予算 (百万円)	説明
個性ある区づくり推進費	728	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	99	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	36	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	450	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区行政推進費	143	区役所の会計年度任用職員人件費や区役所との連絡調整等に係る経費です。
区配付予算	3,943	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	527	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	215	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	9	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	7	各種統計調査を行うための経費です。
その他	296	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	609	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 671百万円
道路修繕費等	547	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	1	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(62)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	61	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	500	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	107	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費 南浅間保育園の運営費です。
放課後児童健全育成	230	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
その他	163	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給等
生活保護等	2,086	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,970	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	116	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	221	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	72	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	25	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	124	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	2,428	
職員人件費	2,428	
合計	7,100	※下水道事業を含む 7,162百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

3-(4) 西区における開発動向等について

地図	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとしています。<u>令和3(2021)年5月末に工事に着手しました。</u></p> <p>【スケジュール】 令和3(2021)年5月末 工事着手 令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始します。</p> <p>【スケジュール】 平成29～令和2(2020)年度 水位計測、データ解析、周知方法の検討 令和3(2021)年度 水位情報の提供開始(6月末を予定)、水位計の増設検討 水位周知下水道の指定について継続して検討</p>
②	<p>久保町防災広場等整備 老朽化した防火水槽の更新に向け、防災広場の整備を行います。</p> <p>【施設概要】 防災広場等</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年度 工事(防火水槽撤去、防災広場・新設道路整備) 令和3(2021)年度 <u>工事(防災広場・新設道路整備)</u>、移管手続(予定)</p>
③	<p>東横線廃線跡地 桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間を令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始しました。供用区間の利活用に関する実験イベントを令和元年度に2回(9月24日、12月20日)、令和2年度には1回(10月18日)開催しました。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。</p> <p>なお、平成29年に道路構造物の耐震基準の改定が行われたことから、構造物の劣化が進んでいる浅山橋交差点～高島町交差点間の構造物健全度調査を令和2年度に実施し、必要な対策の検討を進めています。</p> <p>また、旧高島町駅付近の高架下は平成30年8月から<u>令和3年3月まで</u>「R16 国道16号線スタジオ」として暫定活用をしており、アーティスト・クリエイターの創作活動の場となっていました。</p>

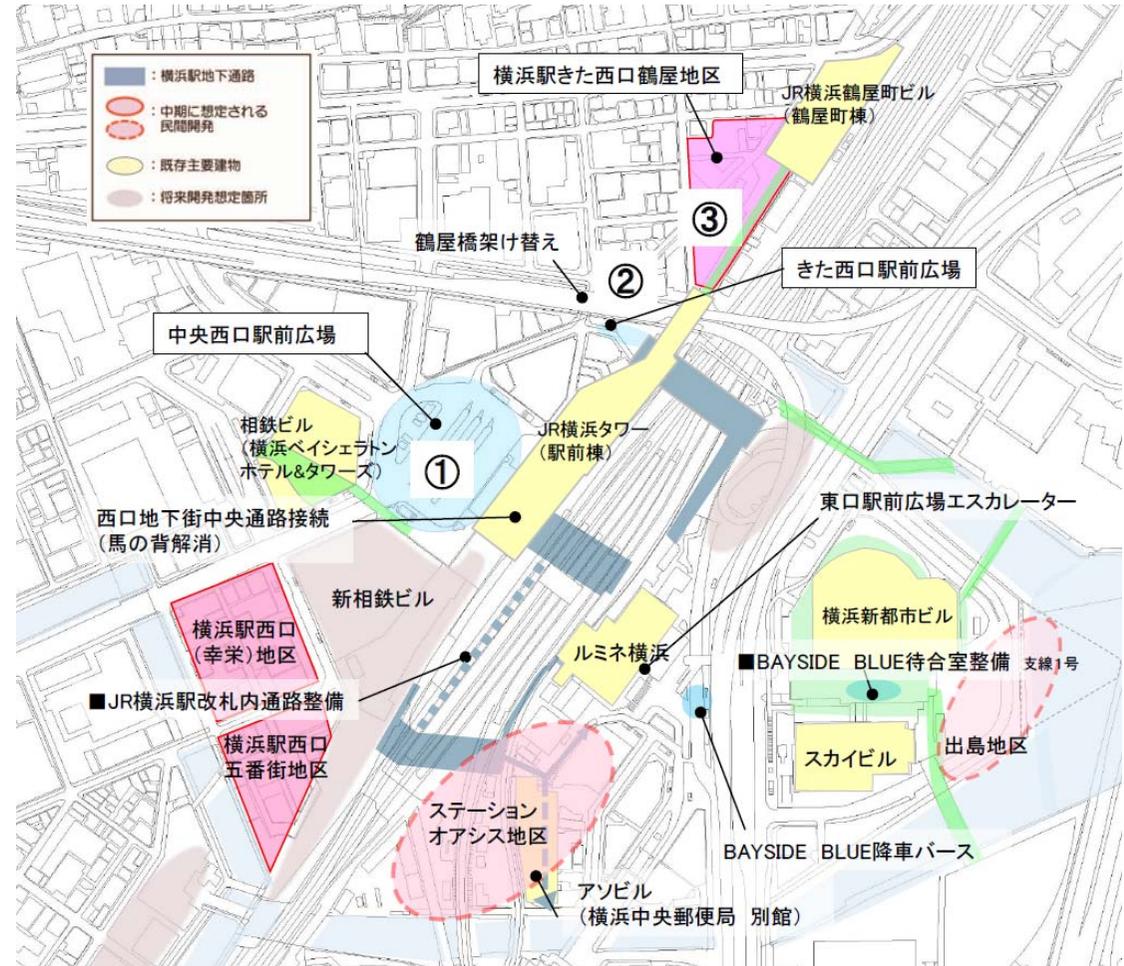
地区	概要
④	<p>神奈川県立図書館新棟整備 神奈川県が旧県立紅葉ヶ丘高等職業技術校跡地に、県立図書館新棟の整備を行います。</p> <p>新棟を新たに整備し、「価値を創造する図書館」としての機能を付加するとともに、今後、既存本館は建物等の魅力を活かした「魅せる図書館」、既存新館は収蔵庫として改修する予定です。</p> <p>【施設概要】敷地面積1908.07㎡ 延床面積3,737.69㎡、地上4階</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年 着工 令和3(2021)年度 竣工予定 令和4(2022)年度 開館予定</p>
⑤	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備する予定です。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,500㎡</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年度 既存建物解体、公園計画の検討 令和3(2021)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>
⑥	<p>旧野毛山寮公園整備 当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,700㎡</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年度 道路整備工事、公園設計 令和3(2021)年度 公園工事(基盤整備)、 公道化(南側)整備に向けた調査 令和4(2022)年度 公園工事、移管手続等、公道化(南側) <u>調査・設計</u>(予定) 令和5(2023)年度以降 公道化(南側) <u>設計・整備</u>(予定)</p>
⑦	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってききましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】土地面積 約6,200㎡</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年度 所管替え、公園計画の検討 令和3(2021)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>

3-(4) 西区における開発動向等について(横浜駅周辺地区)

横浜駅西口	東日本旅客鉄道㈱によりJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビルの建設工事が竣工し、駅前広場の整備が進められています。 また、神奈川区になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。
横浜駅東口	横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事による事業費への影響が大きいが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。
①	中央西口駅前広場 令和2(2020)年8月～令和5(2023)年3月 横浜モアーズ前、横浜高島屋前 (令和3(2021)年7月～9月はオリンピック・パラリンピックのため休工予定)
②	きた西口駅前広場 令和元(2019)年7月～令和5(2023)年3月 令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始
③	横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル) 事業者: 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ: 地上43階/地下2階、約178m 用途: 住宅、ホテル、商業施設等 平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着工 令和5(2023)年度 竣工(予定)

【全体スケジュール】

令和元(2019)年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
令和元(2019)年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
令和元(2019)年12月	西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
令和2(2020)年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
令和2(2020)年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前工事完了
令和2(2020)年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前、横浜高島屋前工事着手 JR横浜駅改札内通路整備完了
令和2(2020)年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了
令和4(2022)年度	①中央西口駅前広場整備完了(予定) ②きた西口駅前広場整備完了(予定)
令和5(2023)年度	③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)



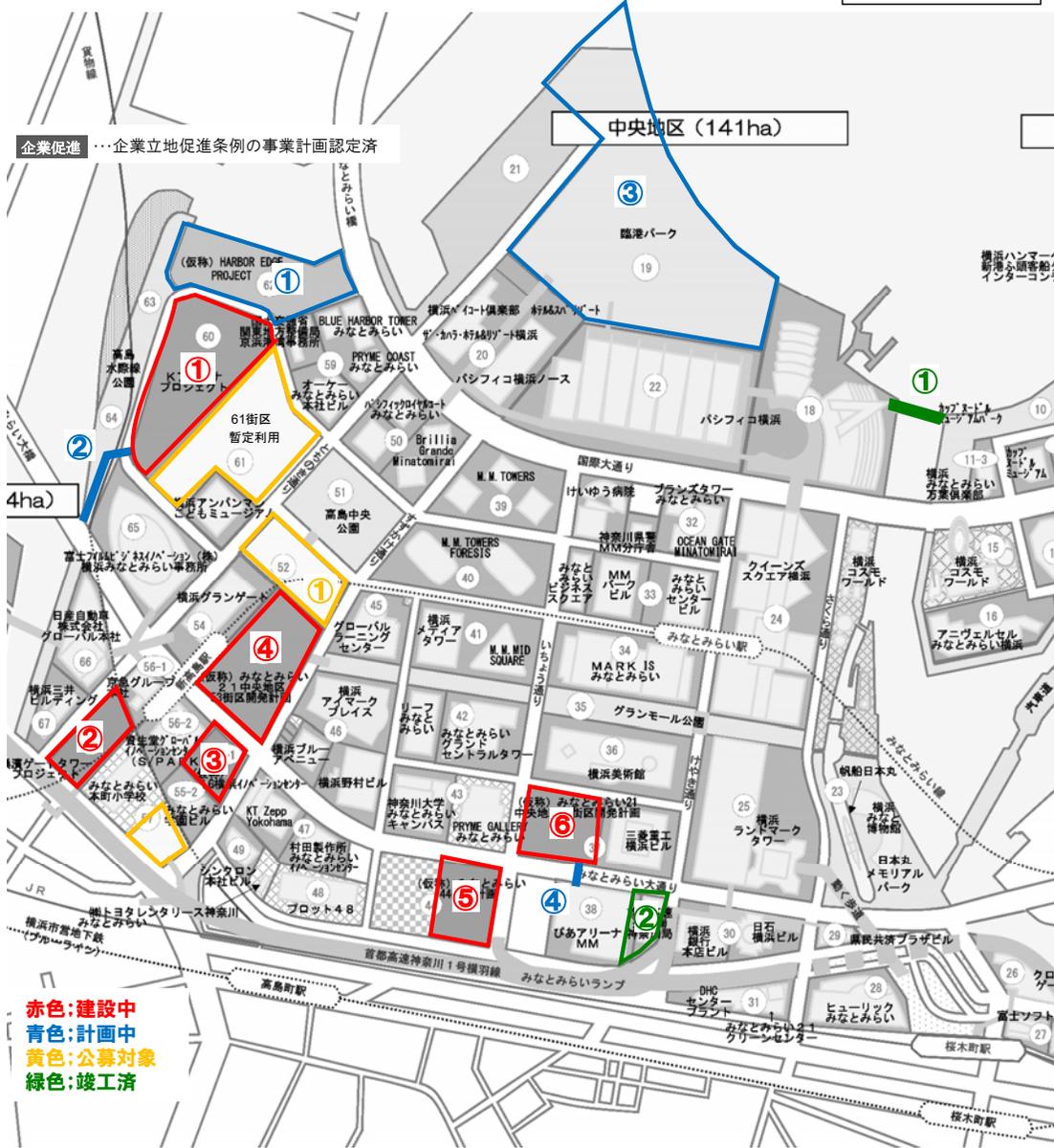
3-(4) 西区における開発動向等について(みなとみらい21地区)

令和3年4月末時点

<p>赤① 60・61の一部：Kアリーナプロジェクト 企業促進</p> <p>事業主体：株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ：地上28階/約99m 敷地/延床面積：約31,800㎡/約117,100㎡ 施設：音楽アリーナ(収容人数約2万人)、ホテル、オフィス、展示施設 竣工：令和5(2023)年10月予定</p>	<p>赤④ 53(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発計画</p> <p>事業主体：(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体 規模等/高さ：地上30階/約160m 敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡ 施設：オフィス、店舗、オープンインベションスペース、ホテル等 竣工：令和6(2024)年3月予定</p>
<p>赤② 58：横濱ゲートタワープロジェクト 企業促進</p> <p>事業主体：鹿島建設株式会社、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険株式会社 規模等/高さ：地上21階、地下1階/約110m 敷地/延床面積：約9,300㎡/約84,000㎡ 施設：オフィス、店舗、プラネタリウム等 竣工：令和3(2021)年度予定</p>	<p>赤⑤ 44の一部：(仮称)みなとみらい44街区計画 企業促進</p> <p>事業主体：積水ハウス株式会社 規模等/高さ：地上23階/約100m 敷地/延床面積：約9,600㎡/約65,800㎡ 施設：ホテル等 竣工：令和4(2022)年2月予定</p>
<p>赤③ 55-1：(仮称)LG横濱イノベーションセンター</p> <p>事業主体：LG Holdings Japan株式会社 規模等/高さ：地上16階、地下2階/約90m 敷地/延床面積：約4,000㎡/約35,900㎡ 施設：研究所、事務所、にぎわい施設等 竣工：令和3(2021)年11月予定</p>	<p>赤⑥ 37の一部：(仮称)みなとみらい21中央地区37街区開発計画</p> <p>事業主体：合同会社K R F 4 8 規模等/高さ：地上28階、地下1階/約146m 敷地/延床面積：約10,100㎡/約122,000㎡ 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場 竣工：令和5(2023)年1月予定</p>

<p>青① 62：(仮称)HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：(代表企業) Berjaya Corporation Berhad (構成企業) 丸紅株式会社、大和ハウス工業株式会社 規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積：約22,200㎡/約82,700㎡ 施設：ホテル、水族館、店舗 竣工：令和8(2026)年3月予定</p>	<p>青③ 19の一部：臨港パーク先端部等の整備 新規</p> <p>事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：接続デッキ(パシフィコ横浜)、緑地、親水護岸、栈橋、藻場・浅場(人工海浜・岩場)等 着手予定：令和3年度</p>
<p>青② 60-みなとみらい大通り：(仮称)高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3年度 竣工予定：令和5年度中</p>	<p>青④ 37-38：(仮称)みなとみらい大通り37-38街区間デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約50m 着工：令和3年度 竣工予定：令和4年度中</p>

<p>黄① 52街区(市有地・国有地 公募)</p> <p>敷地面積：約11,800㎡ 公募期間：令和2年11月6日～令和3年3月3日 事業予定者決定：令和3年7月予定 建物用途：業務、商業、文化施設等</p>
--



- 緑① 女神橋(令和3(2021)年3月31日全面供用開始)
- 緑② 首都高速道路路樹(令和3(2021)年3月竣工)

3-(5) 新型コロナウイルスワクチンの接種計画等について

1 横浜市新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け接種計画について（6/9現在）

(1) 必要な接種回数

対象者数：65歳以上 約97万人ー約7万人（施設等入所者）＝約90万人

接種回数：約90万人×2回接種×接種率80%＝約146.3万回

(2) 接種計画

当初計画【8月中旬に8割接種完了】

変更計画【7月末時点で8割接種完了】

集団接種 (33会場)	約44.5万回	→	約46.9万回	・実施回数増(時間延長等)
	—		大規模接種 約18.5万回	・横浜ハンマーヘッド
個別接種 (約1,100か所)	約60万回		約80.9万回	・医療機関数の増 (約1,700か所)
7月末計	約104.5万回 (58%)		約146.3万回 (80%)	

〈参考：接種手法別予約状況等〉

	合計	集団接種 (公会堂・スポーツセンター等)	大規模接種 (横浜ハンマーヘッド)	個別接種 (病院・診療所)
予約状況 (合計)	約123.1万回	約45.9万回	約18.5万回	約58.7万回
(実績)	約81.1万回	約43.7万回	約18.5万回	約18.9万回
(見込み)	約42.0万回 以上	約2.2万回 (6/14受付予定)	—	約39.8万回 以上 (ワクチン配送量より推計)

2 西区での新型コロナウイルスワクチン接種について

(1) 集団接種（集団接種は、お住まいの区以外の会場でも予約・接種が可能です。）

会場、接種ブース数		5月	6月	7月	7月末までの 接種枠合計 (5/31現在)
主会場	西公会堂 西地区センター (接種ブース：6)	5/19～6/27 水・木・土・日			8,640回
	西スポーツ センター (接種ブース：4)			6/30～ 水・木・土・日	4,446回
その他 会場	藤棚 地区センター (接種ブース：6)		6/10～ 木・土(午後のみ)・日		8,550回
					21,636回

〈参考：西区の高齢者に係る必要接種回数等〉

高齢者	必要な接種回数	集団接種 想定接種数(健康福祉局試算)
21,446人	42,892回	19,215回

(2) 個別接種（現在、接種医療機関を増やすため、市内医療機関へ更なる協力を依頼しています。）

ア 区内医療機関 60（6/3現在）

イ 公表医療機関 37（6/10現在） ※別紙「【西区】医療機関での個別接種について」のとおり

【西区】 医療機関での個別接種について

【注意事項】

6月10日現在、予約ができるのは、65歳以上高齢者の方です。
基礎疾患等優先接種の対象者や一般の方はまだ予約できませんのでご注意ください。
予約開始日は追ってご案内します。

○医療機関での予約受付方法(西区)

(予約は医療機関からのお知らせをご確認の上、お取りください。)

医療機関名	住所	医療機関からのお知らせ			
		予約電話またはWebサイト	予約受付時間	予約開始日	備考
医療法人恵仁会 松島クリニック	伊勢町3丁目138番地	045-241-7311	日曜、祝日を除く、10時から11時、14時から16時	開始済	既に予約は一杯で、現在はキャンセルがあった場合のみになります
横浜こどもクリニック	岡野2-5-18 サミット横浜岡野店2階	https://www.yokohama-kodomo.jp	オンラインにて常時	開始済	現状では接種は土曜日15:00から18:00に実施予定です
横浜血管クリニック	岡野1-14-1 2F	080-7534-8880	金・日・祝日を除く平日9時半～17時まで	開始済	ワクチン接種に関する質問は不可。現在、7月末までいっぱいです
横浜整形外科クリニック	岡野2-5-18	ウェブサイト準備中	6/13,6/20,6/27日 曜日 9:00～15:30	開始済	今後日曜日以外でも接種日を増やしていきます。
徳井内科クリニック	北幸1-2-13-3F	045-410-0355	平日15時から18時まで	開始済	接種は火～土実施しています
久保クリニック	北幸2-5-15 プレミア横浜西口ビル1F	045-316-2555	9時半から12時半、15時半から18時半(土曜日午前のみ)	開始済	接種は平日は15時半から、土曜日は13時から実施します
よこはまバインクリニック	北幸2-10-50 北幸山田ビル8階	フォームでのみ受付 https://docs.google.com/forms/d/1vshvbSWGlmHH2DK6z4ki8op1aZ1e25zBv4MwX6U3LQ/edit	午前8時から午後6時(土日祝可)	開始済	通院中の方優先。入力方法の問い合わせ:09022240130
前川メディカルクリニック	北幸1-1-8	045-312-3615	平日14時30分から17時まで	6月15日	
松尾医院	北幸1-4-5 天理ビル5階	045-311-4835	月・火・金の14時から17時まで	6月29日	
有馬医院	楠町27-2 有馬ビル1階	045-311-0410	月から土曜日午前10時から12時まで	6月15日	接種は平日 月、火、水、金の11時から12時です。
医療法人社団 秀仁会 深作眼科	楠町5-1	045-325-0068	平日 9時～16時まで	開始済	接種は月曜・水曜に実施しています。12時頃ご来院ください。
ながともクリニック	楠町7-1	045-314-0063	月、水、金の13時から15時	開始済	
楠クリニック	楠町14-3 エクセルビル2階	045-290-7577	水曜日、日曜日を除く10時から13時 16時から18時	開始済	接種は水曜日と日曜日を除く14時から15時
亀田病院	御所山町77番地	070-1062-9515	月曜日～金曜日 14時～16時	開始済	接種受付時間:月・金13時半～16時 土14時～16時
青木小児科医院	境之谷73番地	045-231-4144	診療時間内に電話で	6月14日	月、火、水の14:15～15:00実施。3週間後同時刻も予約
つるおかクリニック	浅間町5-378-7	045-548-6601	休診日を除く14時半から17時まで	6月11日	接種は土曜日の午後に実施しています
よこはま高島町クリニック	高島2丁目10-32	045-444-1117	水曜日を除く平日15時から17時まで	6月11日	

医療機関名	住所	医療機関からのお知らせ			
		予約電話またはWebサイト	予約受付時間	予約開始日	備考
スカイビル内科	高島2-19-12 スカイビル21階	045-461-1603	月曜日9:30-10:00、 火曜日9:30-10:00	開始済	
横濱高島診療所	高島2-14-11 第2田浦ビル6階	045-451-1717	木曜日を除く平日9時から 15時まで(土曜日12 時まで)	開始済	
岡部医院	中央2-19-15	045-321-5703	月、火、金曜の16時から 18時	6月14日	
進藤医院	中央2-36-7	予診票(主治医の接種許可 をもらっていること)・接種 券持参し、窓口予約のみ	9時～12時、14時30分 ～17時	開始済	現在キャンセル待ちのみ受付 中。予約再開は夏季に院内掲示 予定。
鈴木内科クリニック	戸部町5-204	045-231-3355	月～金8:30-11:30 月・水・金14:00-16: 30	開始済	当院ホームページに予約可否状 況をなるべく早期に掲示予定で す。
渡邊醫院	西戸部町2-120	090-4169-3728	月・水・金曜日の14:30 ～15:00	6月11日	7月枠は残りわずか 往診(西区 内)優先
高島町しらゆり内科 クリニック	花咲町6-143 横浜MIDベース アネックス2階	090-8225-7703	水曜日を除く平日13時 30分から15時まで	開始済	クリニックの代表電話からは予 約ができません。
生駒医院	東久保町35-20	045-231-5921	平日10時～12時 15時 ～17時	開始済	
横浜東口 中村クリ ニック	平沼1-2-23 中村ビル1F	045-534-8590	平日10時から12時まで	開始済	接種は金曜日午後を予定、日時 は当院から指定いたします。
いちの内科クリニッ ク	平沼1-2-12	045-314-1125	水曜日を除く平日午前 10時から午後0時まで	開始済	接種は午前11時30分から午後 0時30分で実施しています。
平沼橋こどもみらい クリニック	平沼2-3-1-102	https://mira- kuri.com/	WEB予約での対応とな ります。お電話でのご予 約は不可。	開始済	ワクチンの予約はHP上で順次 更新されますのでご確認ください。
コンフォート横浜ク リニック	平沼2-8-25	045-620-2870	火曜～金曜 10時～16 時30分(祝日、夏季休業 期間等除く)	6月17日	接種受付時間 8時45分～9時 30分
富田内科クリニック	藤棚町1-58-6	045-260-6313	月火水金の15時から18 時に電話で受け付けま す。	開始済	接種は三密を避けるため時間厳 守をお願いします。
中島整形外科	藤棚町1-120	045-243-6651	木曜日を除く平日14時 半から18時	開始済	
香取耳鼻咽喉科	藤棚町1-95-1-101	045-350-8741	月火水金9:30～ 12:30、15:00～ 18:30	開始済	土9:30～14:00も予約可 予 約は電話のみ
みなとみらい内科ク リニック	みなとみらい4-7-1 2階G	045-641-0550	月～金 15:00～ 16:00	開始済	1回目と2回目は同時予約いた します。ご予約は電話のみです。
みなとみらい耳鼻咽 喉科	みなとみらい4-7-1-2 階	045-640-4114	木曜日を除く平日16時 から17時、土曜日12時 から13時	開始済	
ランドマーク横浜国 際クリニック	みなとみらい2-2-1 ランドマークプラザ1階	045-224-2111	8:30-12:00 13: 00-16:45 休診日除 く	6月21日	2回とも接種日はこちらで決め させていただきます 1回のみ不可
横浜エムエムクリ ニック	みなとみらい3-3-1 三菱重工横浜ビルショッ ピングプラザ3階	https://select- type.com/rsv/?id=2i 6WoAI-UFg	ワクチン入荷数が確定 後、毎週木曜日に予約枠 を公開	開始済	コロナワクチン専用ダイヤル 045-225-9227
三ツ沢ハイタウンク リニック	宮ヶ谷25-2 三ツ沢ハイタウン1-111	045-312-0290	月・水・金の13時～16時	開始済	接種は月・水・金14時～16時実 施。小規模のため人数上限あり

3-(6) 臨港パーク先端部等の整備について

1 事業のねらい

臨港パークは、港を一望できる素晴らしい景観が広がり、多くの来街者で賑わう地区のシンボルとなっています。また、防災空間としての機能も担っています。

みなとみらい21地区は、企業の立地が進み、就業者数・事業所数も共に過去最高を記録し、開発は佳境となっています。

そのため、時機を逸することなく、開発の総仕上げとして、臨港パークの完成に向け取り組みこととしました。

2 整備概要

緑地先端部には、緩やかな曲線に沿った親水護岸を整備し、先端部にはシンボリックな展望ゾーンを設けます。

また、水上交通の拠点となる栈橋を整備することで、来街者の更なる回遊性の向上につながるるとともに、CO₂を吸収する「ブルーカーボン」としての機能も担う藻場・浅場(人工海浜・岩場)等の造成を行います。

現在のパシフィコ横浜との接続部は、仮設構造のデッキで幅員が狭く、経年劣化が進んでいるため、幅員が広い本設デッキを整備し、一体化を図り利便性・安全性を高めめます。



【臨港パーク整備位置図】



【緑地先端部整備イメージ】



【現在の仮設デッキ】



【仮設デッキの劣化状況】

3 今後の進め方

郊外部を含めた市民の皆様、来街者、NPO等の活動団体、旅行会社、船会社等関係事業者のご意見を幅広く伺い、計画のコンセプトや整備の考え方を取りまとめていきます。

それを基に、ゾーニング、導入施設等の設計を行い、併せて活用方法や管理運営の検討を行い、今年度中に着工し、令和5年度の供用開始を目指してまいります。